



(学年だより)



園庭に紫陽花が咲き始めました。今年の梅雨入りは、例年より遅くなるという予報が出ていますが、雨が降る日も増えてきました。子どもたちは、園庭に出て体を動かしたり、友達と一緒にごっこ遊びをしたり、大型積み木で自分たちの場を作ったりするなど、自分のしたいことを見つけて遊びを楽しんでいます。

土曜参観ありがとうございました！！

6月の土曜参観でのご協力ありがとうございました。お家の人に来てくれることや、お家の人と一緒にコリントゲーム作りができることを楽しみにしていた子どもたち。いつもと異なる環境に緊張していた子もいましたが、返ってきたアンケートを読ませていただくと、子どもたちにとって嬉しい時間だったことが感じられました。

今回の参観では、親子の触れ合い遊びや、普段なかなか体験できない釘打ちの活動を取り入れました。触れ合い遊びでは、大好きなお家の方とのスキンシップを楽しみながら、様々な動きが経験できるようにしました。釘打ちでは、親子の丁寧な関わりの中で、子どもたちが自分なりに考えたり、粘り強く挑戦したりしてほしいと考えていました。またそういった子どもたちの姿を保護者の方に近くで見たい、支えていただきたいという思いがありました。自分で作ったことが満足感や達成感につながっていただければと思います。

アンケートのご協力ありがとうございました。

たくさんのご感想・ご意見をありがとうございます。ほんの一部ですがご紹介いたします。

- なかなか家で触れ合い遊びをする機会がなかったので、今回改めて子どもと触れ合えてよかったと思います。
- 釘を打ったのは初めての体験で、最初は不安そうでしたが、途中から自分でもできて自信がもてたようで、楽しんでいました。
- 仲のよい友達と楽しそうに話している姿が見られて良かったです。
- 活動に積極的に楽しそうに参加しているのが印象的でした。
- 活動内容をもう少し前に教えていただけると、下の子を預けるのに調整しやすいと思います。

忍者と番人

5月下旬より“忍者と番人”という遊びをしています。忍者役は、番人役の守る宝を取りに行き、番人役は宝を取られないように守ります。宝を取って陣地に戻ったら忍者役の勝ち、宝を守り切ったら番人役の勝ち、となる鬼遊びです。子どもたちは、宝を取ったり、捕まった仲間を助けたり、手を広げて宝を守ったりする中で、楽しさや喜び、悔しさなどを感じながら、繰り返し取り組んでいます。回数を重ねていくうちに、宝を持っている忍者を囲んで宝を取られないようにしたり、番人が見えていない隙を見計らって安全地帯まで走ったりするなど、それぞれの役で考えて動く姿が増えてきました。困ったことがあったときには、学級でどのようにしたらよいかを相談したり、仲間同士で作戦を考えたりしながら、みんなで一緒に遊ぶことを楽しんでいます。

園内では、昨年度から継続して「体づくり」について研究をしています。6月3日(月)には、日本体育大学教授の白旗先生に、そら組の“忍者と番人”の様子を見ていただき、ご指導いただきました。その中で、幼児期のうちに、できるだけ様々な動きの経験をすることや、運動への苦手意識を減らすためにも、小さな成功体験が大切であることを学びました。園でも活動を工夫しながら楽しさに共感し、認めたり励ましたりして、“体を動かすことは楽しい”“してみたらできた”“挑戦してみよう”などと感じられるようにしていきます。

思い切り体を動かして逃げたり、追いかけたり、かわしたりする。

1 健康な心と体



番人が見えていない隙に引越すぞ

ルールが分かり、遊ぶことを楽しむ。
学級みんなで話しながら、ルールを加える。

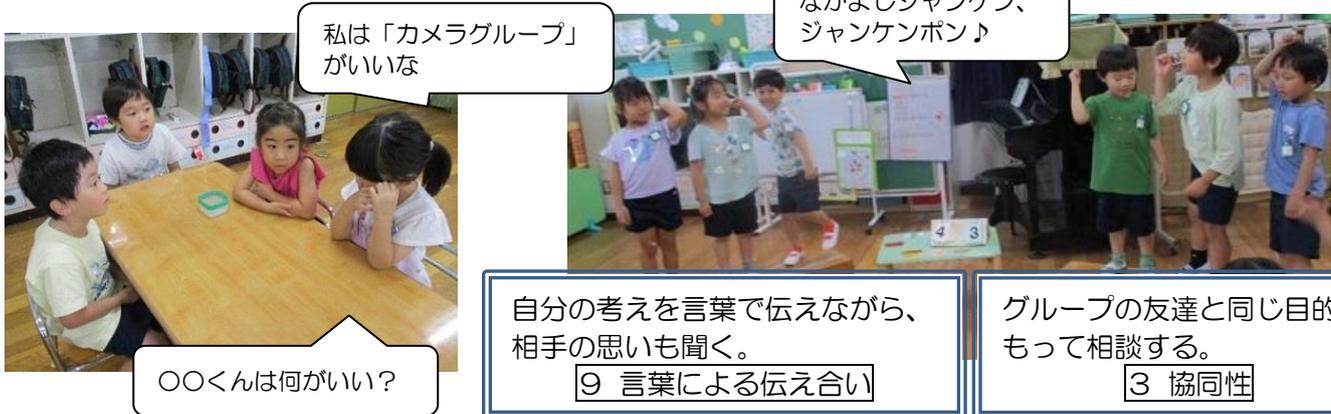
3 道徳性 規範意識の芽生え

友達と意思を出し合いながら・・・

年長組になってから、友達と相談して決める機会が増えてきました。“なかよしジャンケン”というペアになった友達とジャンケンで何を出すのか相談をして相手のペアとジャンケンをするという遊びをしています。

また、当番活動をしたり、給食を一緒に食べたりする“生活グループ”が新しくなると、グループ名を自分たちで相談して決めています。相談には、自分の意思を伝えることだけではなく、相手の意思を最後までよく聞くことや、意思が異なったときには互いの意思に折り合いをつけていくことも必要です。それぞれが意思を出せるよう関わったり、話の聞き方を知らせたりしながら、相談を進めていられるようにしています。

友達と一緒に相談してものごとを決めていくことは、遊びの中でイメージを共有したり、意思を伝え合ったりする姿にもつながっていきますね。



生活習慣のポイント ～傘を自分で畳んでいますか～

雨が降る日が増え、傘を使う機会が増えていきます。登降園時の子どもたちの様子を見ると、傘を自分で畳まずにお家の方に頼っている姿や、自分でしようとしてもうまくできずに困る姿が見られます。

小学校に行くと子どもたちは、自分で傘をさし、自分で傘を畳んで教室に入ります。近くに頼れる人がいるとは限らず、自分でできないと子どもたちは困ることになります。

園では、雨が降った日に、傘の始末を自分でしたかを聞いたり、自分で始末した子どもたちの姿を認めたりしながら、自分でしようと思えるように関わっています。雨が降ったときを活用し、ぜひご家庭でもお子さんが自分で挑戦できるよう言葉を掛けていただけたらと思います。園でも引き続き、自分でできることが増える喜びを大切にしながら見守り、支えていきます。

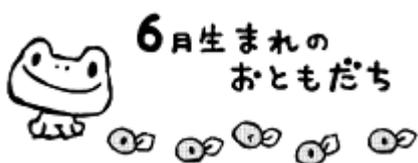
連絡事項

〇着替え袋の中身の入れ替えをお願いします

暑い日が増えてきました。汗や水遊びなどで服が汚れることが予想されるので、着替え袋の中身を確認していただき、入れ替えをお願いします。また、梅雨は肌寒い日もあるので、長袖Tシャツやおる物などを入れておくとよいと思います。汚れたものを入れるビニール袋（記名をしてください）は、必ず入れておいてください。着替えやビニール袋を使ったらその都度補充をお願いします。

〇七夕の短冊について

6月21日（金）に、自分で模様をつけた短冊を2枚持ち帰ります。模様のある方を表にして、1枚はお子さんの願い事、もう1枚は家族の願い事（願い事は、欲しいものではなく、こうなりたいという気持ちがあるようなもの）を書き、7月1日（月）までに持ってきてください。（どちらもお子さんの名前を記入してください）幼児同士で見合えるように、願い事と名前は、ひらがなで書いてください。



6月生まれの
おともだち

おたんじょうび おめでとう！

<そら組>

<うみ組>